

伊予鉄道「郡中線」ワンマン運転の実施について

伊予鉄道株式会社（本社：松山市、代表取締役社長：清水一郎）は、2026 年 10 月 16 日（金）の始発便から、郡中線（松山市駅～郡中港駅間、営業キロ 11.3km）の全便で、車掌が乗務せず運転士だけで運行する「ワンマン運転」を実施いたします。

ワンマン運転は、運転士や車掌の担い手が不足していることを受け、限られた人員で路線を維持していくための取り組みです。ワンマン運転に先立ち、郡中線の全駅にホームミラーを設置するほか、車両にドアチャイムやドア開閉予告灯、車内防犯カメラ、運転士に異常が生じた際に列車を自動的に停止させる「デッドマン装置」を導入し、安全設備を強化いたします。あわせて、運行時刻を一部変更いたします。

1. 実 施 日 2026 年 10 月 16 日（金）始発便～
2. 区 間 郡中線 松山市駅～郡中港駅間（営業キロ程 11.3 km）
3. 対 象 郡中線全便（終日）
4. 安全対策 ・ホームミラーの設置（郡中線全駅）
 ・ドアチャイム／ドア開閉予告灯の導入
 ・車内防犯カメラの導入
 ・デッドマン装置（運転士異常時に列車を自動停止）
5. そ の 他 ワンマン運転実施に伴い運行時刻を一部変更いたします。



時刻表はこちら

【実施の背景】

近年、鉄道の運行に欠かせない運転士・車掌の担い手が不足しています。伊予鉄道はこれを社会的な課題と受け止め、業務の省人化・効率化を進めています。

あわせて、社員の処遇改善や老朽化した設備の更新にも取り組み、将来にわたって鉄道を運行し続けられる体制の構築を目指しています。今回のワンマン運転は、その取り組みの一つです。